

予習・復習 IT用語

このコーナーでは、最新のものから昔から耳にしているものまで、IT関連用語を新旧取り混ぜてご紹介します。

Q リッチ・クライアント

高機能で表現力や操作性に優れた、ユーザー側のソフトウェアまたはコンピュータ環境のこと

ネットワークで接続されたコンピュータ・システムにおいて、データベースやアプリケーションを集中的に管理するコンピュータをサーバといい、ユーザー側のコンピュータをクライアントと呼びます。リッチ・クライアントはユーザーにとって高機能で、表現力や操作性に優れたソフトウェアまたはコンピュータ環境のことを指します。

1990年代に普及した初期のクライアント・サーバシステムではクライアントは文字表示や印刷しかできませんでした。その後、高機能で柔軟なユーザーインターフェイスを持つようになり、ファット・クライアント(Fat Client)と呼ばれました。これらの多くはWindowsアプリケーションで実現されていました。

その後、配布・保守が容易で、開発コストが低いなどの利点のため、WebブラウザとHTMLが用いられるようになりました。しかし文字や画像表示中心のHTMLでは表現力が乏しくユーザーは単純な操作しかできません。そこで近年、アニメーションや3次元グラフィックス、動画などが扱え、しかも高い操作性を備えたリッチ・クライアントが登場したのです。代表的なものには、地図をマウスで自由自在に移動させたりダブルクリックで拡大したりできるGoogle マップがあります。

リッチ・クライアントの実現方法には、Webブラウザの標準技術だけを使うAjax (Asynchronous JavaScript+XML) や、Webブラウザのプラグインや専用クライアントを使う米アドビシステムズ社のAdobe Flash、Adobe Flex、米カール社のCurl、アクシソフトのBiz/Browser、Biz/Designer などがあります。なお最近ではリッチ・クライアント上のアプリケーションはリッチインターネットアプリケーション(Rich Internet Applications、略してRIA)と呼ばれています。

Q PDF (Portable Document Format)

アドビシステムズ社が開発した電子文書のフォーマットのこと

PDFは、米アドビシステムズ社が開発した電子文書のフォーマットです。電子文書を配布・公開するためのフォーマットとして、世界中で広く利用されています。

PDF形式のファイル(以下、PDFファイル)は、アドビシステムズ社が無償で配布している「Adobe Reader」というソフトウェアを使って表示・印刷することができます。PDFファイルの作成には同社が有償で販売している「Adobe Acrobat」などを使用します。

PDFの大きな利点は、「Adobe Reader」がインストールされていれば、どのパソコンでも同じように電子文書を表示できるという点です。あるソフトウェア(Microsoft Office、一太郎など)で作成した電子文書を表示する場合、閲覧する側のパソコンにそのソフトウェアがインストールされていなければ見ることはできませんが、その文書がPDFファイルに変換されていれば、ソフトウェアの有無に関係なく、「Adobe Reader」から閲覧することができます。また、閲覧する側のパソコンに異なるバージョンのソフトウェアがインストールされている場合、レイアウトが崩れてしまうことがありますが、「Adobe Reader」での表示であれば、どのパソコンからでも同じ見た目になります。

そのほかの利点として、「セキュリティの強化」があります。PDFファイルは情報の機密性を保つために、パスワードの設定や印刷・コピーの制限など様々なセキュリティ設定を行うことができ、情報漏えいや改ざんを防止することができます。また、「ファイルサイズが小さい」という利点もあります。元文書の内容にもよりますが、多くの場合、文書の品質を下げることなくファイルサイズを小さくすることができます。メールに添付して送る場合に便利です。